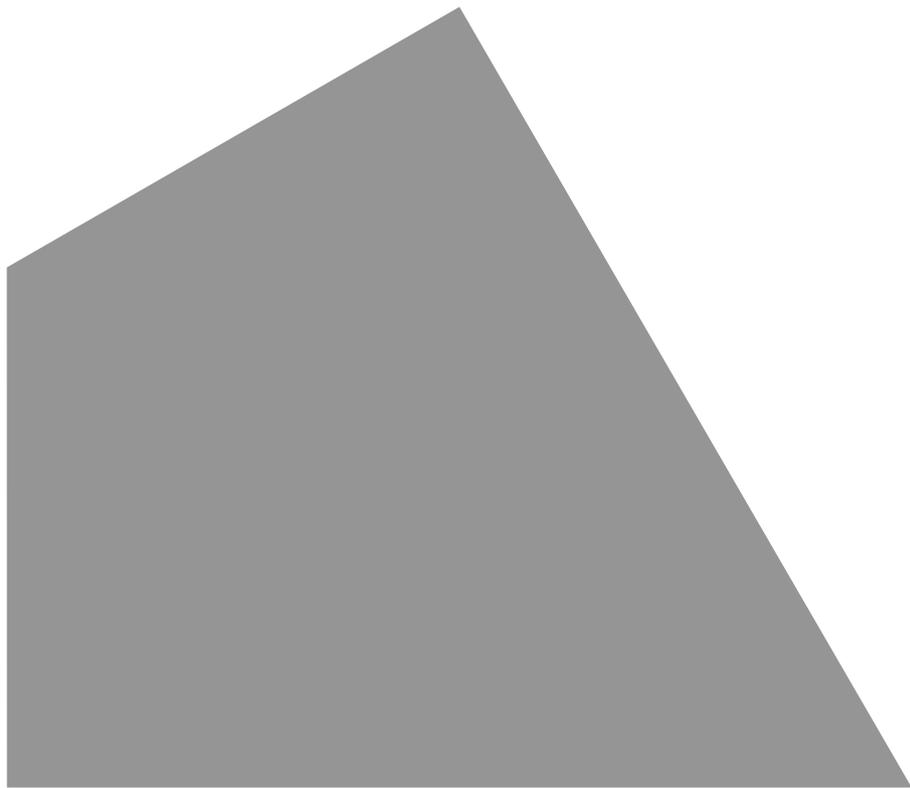


文化
ぶんか



でんとうこうげい

しんか

伝統工芸はどのように進化するの？

きょうと

でんとうこうげい

ねんいじょう

むかし

たいせつ

つか

京都の伝統工芸は、1000年以上も昔から、くらしのなかで大切に使わ

う

ぶんか

ぎじゅつ

しんか

れて、受けつがれてきました。そんな文化や技術は、どのように進化し

さくひん

み

かんが

ていくのでしょうか。作品を見ながら考えてみましょう。

1

かなあみ

金網つじ

2

なんじょうこうぼう

南條工房

3

あさひやきかまもと

朝日焼窯元

4

かぶしきがいしゃ なかがわもっこうげい

株式会社 中川木工芸

かん こうげい
からだで感じる工芸

ひと て つく め て みみ かん
人の手で作られるものを、目、手、耳で感じて、
むし な ごえ ちゃ かお おも
ここにはない、虫の鳴き声や、お茶の香りを思い
うかべてください。



なかがわもっこうげい
中川木工芸



かなあみ
金網つじ



なんじょうこうぼう
南條工房



あさひやき
朝日焼

1-1

く きょうかな 暮らしによりそう、京金あみ

きょうかな ねんまえ へいあんじだい
京金あみは1000年前の平安時代にもあった

きぞく たの こう どう
とされています。貴族が楽しむためのお香の道

ぐ じんじゃ たら たてもの かな つか
具や、神社やお寺の建物などに金あみが使わ

てづく
れていました。手作りだからこそ、じょうぶで

なが つか つづ どうぐ げんだい く
長く使い続けられる道具は、現代の暮らしの

なか あい
中でも愛されています。

かなあみ
金網つじ

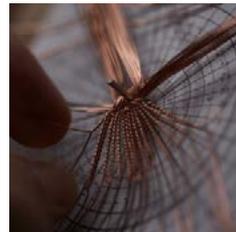
京都市北区紫竹下緑町61-4



1-2

ひんかく かな どうぐ 品格をもった、金あみ・つじの道具たち

かな どうぐ やく かんが
金あみ・つじの道具は、すべて「わき役」だと考
えています。主役である暮らしを引きたてて、
しゅやく く ひ
こちよく使ってもらえるものづくりを目指し
つか めざ
て製作しています。
せいさく



かなあみ

金網つじ

京都市北区紫竹下緑町61-4



2

いのりのための「おりん」のきれいな音色ねいろ

じんじゃ てら しょくにん たか ぎ
神社やお寺は、さまざまな職人さんの高い技

じゅつ つく
術によって作られてきました。「おりん」は、お

きょう とな つか がっき どうぐ
経を唱えるときに使う楽器のような道具です。

ねいろ ば わる
おりんのきれいな音色は場をきれいにし、悪

かんが つた
い考えをはらうと伝えられています。



なんじょうこうぼう

南條工房

宇治市榎島町千足42-2



3

お茶をおいしく、たのしくする朝日焼

ねん なが うじ ちゃ つく
400年より長く、宇治でお茶のうつわを作る

あさひやき ちゃ の
「朝日焼」。いつもお茶をおいしく、たのしく飲め

じかん たいせつ あたら
る時間を大切にしています。新しいことにチャ

むかし よ まも みらい
レンジしながら、昔ながらの良さも守り、未来に

ちゃ ぶんか
お茶の文化をつなげるようにがんばります！

あさひやきかまもと
朝日焼窯元

うじしうじまたぶり ばんち
宇治市宇治又振67番地



4

まる かたち かたち き 丸い形からさまざまな形になった「木おけ」たち

みなさん木おけを知っていますか？昔はどこ
いえ 家にあったものですが今はほとんど見か
けなくなっています。そんな木おけが姿をいろ
か いろ 変えることで、現代の生活に復活していま
みな ぎ であ たいせつ つか
す。皆さんも木おけと出会ったら大切に使って
みてください。

かぶしきがいしゃ なかがわもっこうげい
株式会社中川木工芸
大津市八屋戸419



ぜんしん きょうと かん
全身で京都を感じてみよう！

ゆかとかべにつか使われているきょうかわら京瓦は、キモノきものタイルみ
といいます。着物のえりもとに見えるようにデザ
インえいぞうされました。映像は、京都きょうとじゅうの風景や人
のくらしをうつしています。音楽は、京都きょうとのいろ
いろなところの音おとを集めてつくったものです。

空間デザイン協力 Space design cooperation
Sandwich Sandwich

京瓦タイル「キモノタイル」製作協力 Kyoto tile "Kimono tile" production cooperation
株式会社京瓦 浅田製瓦工場 ASADA KAWARA FACTORY

テーマ映像制作 Theme video production
株式会社 青空 AOZORA,LTD

テーマ音楽制作 Theme music production
原 摩利彦 Marihiko Hara

大阪・関西万博きょうと推進委員会